

2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <https://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	3,746	—	276	—	270	—	171	—
2022年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 167百万円 (—%) 2022年9月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	9.24	—
2022年9月期第1四半期	—	—

(注) 2022年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第1四半期	7,680	2,796	35.9	148.66
2022年9月期	7,644	2,800	36.3	149.61

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 2,757百万円 2022年9月期 2,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年9月期の配当予想については未定です。

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	28.2	1,100	15.2	1,080	14.6	748	23.4	41.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	19,171,000 株	2022年9月期	19,171,000 株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	619,025 株	2022年9月期	619,025 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	18,551,975 株	2022年9月期1Q	17,372,000 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2023年9月期の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、各種感染症対策や行動制限の緩和により、経済活動は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化や、原材料価格・原油価格の高騰、為替相場の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは当連結累計期間を成長加速期の2期目として、積極的な投資を行い、長期ビジョン達成に向けた道筋を作ることを目指し、国内事業の収益基盤強化、海外事業の成長拡大、新事業の創造に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,746百万円、営業利益276百万円、経常利益270百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益171百万円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 住設・建材EC事業

国内におきましては、WEB広告をはじめとした各種の集客施策により登録会員数が順調に増加しております。また、既存顧客からの継続購入も順調に伸びており、四半期売上高は過去最高となりました。急激な為替の変動や資材価格の高騰もありましたが、取引先との仕入価格交渉や販売価格の調整等により粗利率は一定の水準を保っております。主力の洗面カテゴリでは、前連結累計期間に発売した当社らしいミニマルデザインのミラーボックスや、スタイリッシュなフロートタイプの洗面台の売上が非常に好調となっております。また、建具カテゴリでは主力のガラスパーティション《クアドロスリム》と木製建具《ノッポ》が、エクステリアカテゴリでは機能門柱《オスポール》シリーズがそれぞれ大きく売上を伸ばし、各カテゴリの売上成長を牽引いたしました。

海外におきましては、海外出張を再開し、台湾で行われた展示会にも出展するなど、新たな代理店や販売店の開拓を行っております。また、各地でSNSを通じてブランド認知の向上に取り組むなど、今後の海外での販売の基盤づくりに努めました。

以上の結果、売上高3,430百万円、セグメント利益435百万円となりました。

② 住宅事業

住宅事業におきましては、連結子会社であるベストブライト社において、資材価格高騰による影響を吸収しきれず営業損失となりましたが、新築住宅ではサンワカンパニーの人気商品を採用した顧客満足度の高い住宅を提供することで付加価値を高め、適正な利益の確保に努めております。

他方、当社と加盟工務店が一体となって自由設計でデザイン性の高い住宅設計を可能としていくサービス《ASOLIE》では、新規加盟工務店が順調に増加しており、加盟工務店によるモデルハウスの建築計画も進んでおります。

以上の結果、売上高317百万円、セグメント損失30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し、7,680百万円となりました。その主な要因は、棚卸資産の増加171百万円、売掛金の増加151百万円、差入保証金の増加100百万円があった一方で、現金及び預金の減少357百万円、繰延税金資産の減少37百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、4,883百万円となりました。その主な要因は、短期借入金金の増加368百万円、前受金の増加79百万円があった一方で、未払法人税等の減少215百万円、賞与引当金の減少99百万円、長期借入金金の減少41百万円、買掛金の減少19百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、2,796百万円となりました。その主な要因は、新株予約権の増加13百万円があった一方で、利益剰余金の減少14百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年11月14日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,386,861	1,029,072
売掛金	859,906	1,011,481
契約資産	6,913	—
棚卸資産	2,526,276	2,697,390
その他	185,676	257,007
貸倒引当金	△21,203	△21,203
流動資産合計	4,944,432	4,973,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	920,481	899,241
リース資産（純額）	3,060	3,105
土地	93,309	93,309
建設仮勘定	4,515	9,080
その他（純額）	67,549	64,346
有形固定資産合計	1,088,917	1,069,083
無形固定資産		
のれん	210,547	199,466
その他	73,352	68,328
無形固定資産合計	283,900	267,794
投資その他の資産		
投資有価証券	284,160	278,401
関係会社株式	0	0
関係会社長期貸付金	133,000	133,000
長期前払費用	645,750	631,494
差入保証金	325,551	425,944
繰延税金資産	50,966	13,313
その他	20,342	20,349
貸倒引当金	△133,000	△133,000
投資その他の資産合計	1,326,772	1,369,503
固定資産合計	2,699,589	2,706,381
資産合計	7,644,022	7,680,129

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,095,406	1,075,764
前受金	400,573	479,955
短期借入金	1,281,820	1,650,200
1年内返済予定の長期借入金	157,913	160,307
未払法人税等	287,481	72,354
契約負債	26,040	26,933
賞与引当金	153,146	53,640
工事損失引当金	1,012	8,909
その他	516,315	472,350
流動負債合計	3,919,707	4,000,414
固定負債		
長期借入金	617,994	576,642
資産除去債務	300,869	301,356
その他	4,770	4,815
固定負債合計	923,633	882,813
負債合計	4,843,340	4,883,228
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,612	798,612
資本剰余金	748,612	748,612
利益剰余金	1,431,008	1,416,850
自己株式	△216,186	△216,186
株主資本合計	2,762,046	2,747,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,523	10,051
その他の包括利益累計額合計	13,523	10,051
新株予約権	25,111	38,961
純資産合計	2,800,681	2,796,901
負債純資産合計	7,644,022	7,680,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,746,883
売上原価	2,435,052
売上総利益	1,311,831
販売費及び一般管理費	1,035,751
営業利益	276,079
営業外収益	
受取利息及び配当金	1
助成金収入	250
補助金収入	380
その他	34
営業外収益合計	665
営業外費用	
支払利息	4,386
支払手数料	557
その他	1,073
営業外費用合計	6,017
経常利益	270,727
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	270,727
法人税、住民税及び事業税	60,183
法人税等調整額	39,182
法人税等合計	99,366
四半期純利益	171,361
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,361

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	171,361
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,471
その他の包括利益合計	△3,471
四半期包括利益	167,890
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	167,890
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	住設・建材 EC事業	住宅事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,429,241	306,649	3,735,890	—	3,735,890
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	—	10,016	10,016	—	10,016
顧客との契約から生じる収益	3,429,241	316,666	3,745,907	—	3,745,907
その他の収益	—	975	975	—	975
外部顧客への売上高	3,429,241	317,642	3,746,883	—	3,746,883
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,236	—	1,236	△1,236	—
計	3,430,478	317,642	3,748,120	△1,236	3,746,883
セグメント利益又は損失(△)	435,325	△30,822	404,503	△128,424	276,079

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△128,424千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。